

令和3年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：循環型社会に貢献できる産業人材育成事業（古川工業高）

事業実施期間：平成30年度から令和3年度

担当課室名：高校教育課

担当班名：キャリア教育班

TEL：3 6 2 5

e-mail：ko-nou@pref.miyagi.lg.jp

URL：

1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制や、リサイクル産業の振興並びに循環型社会について、専門高校生として取り組むことのできる実践としての基礎的研究を各関係団体からの支援を受けて行う。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

『解体木造建築物の構造材再利用促進の基礎的研究事業』

解体予定の木造建築物の部材を採取し、再利用可能な材料の補強方法を研究しながら、規格材として加工し、木工機械を活用した製作を行った。また、令和3年度も前年度から引き続き、コロナウイルス感染症対策の製品づくりに取り組んだ。

また、本校入学前に東日本大震災を経験した生徒（当時小学1年生）の考えを反映させ、避難所などで活用できる物品や地域からの要望に応える3R啓発活動、木工製品の製作・補修、校内環境美化物品の製作・設置などを行った。

- コロナウイルス感染症対策十字型アクリルパネルの製作【14枚】
- 色麻町建設業組合からの依頼によるキャンプ場の東屋 設計・施工（作業台をリメイクした薪棚、回転式作業テーブルの製作）
- 家庭科実習室で使用する裁ちばさみ収納ボックス【5箱】
- 更衣室で使用する安全靴シューズボックス【120名分】
- 木製玩具の製作・提供【積み木セット5個】
- 端材を活用した木製ストラップ【100個】
- 木製ホワイトボードの製作【10枚】
- 端材を活用したカラーボックスの製作【3台】
- 木製プランターの製作・提供【10個】
- 加工段階で出るカンナくず利用（県農業高校・加美農業高校へ家畜の敷きわら材として提供）

事業取り組みに際して、大崎市役所建築住宅課、色麻町建設業組合、地元の大工、木工建具職人、設計士と連携し、専門的知識の学習と作業体験及び技術・技能指導を受けた。

産業廃棄物の処理状況等、外部講師の指導による設計・製作工程を通じた実践的学習で、地球環境に配慮した今後の産業活動に関与できる人材の育成に努めた。

3 当該年度の実施事業の成果

- 柱換算（105mm角）にして約25本分を再使用・再利用することができた。
- コロナウイルス感染症対策の製品づくりを通し、ものづくりと感染対策の双方で、ニーズと設計・製作の理解を深めることができた。
- 色麻町建設業組合から依頼のあった東屋製作に参加し、地域に根ざした建築物の設計施工について学び、木工家具のリメイク技術を身に付けることができた。
- 小さな廃材を活用した木製玩具を製作し、古工展（文化祭）で展示発表した。木製ストラップは、来場者にプレゼントし、3R活動の啓蒙を行った。

- 現場見学と専門的講師からの指導による実践的学習を通し、地球環境に配慮した今後の産業生産活動に関与できる人材の育成を図ることができた。
- 地域の建設廃棄物処理企業や設計士、大工、木工職人との連携・協力体制が構築できた。

4 今後の展開

- 各種団体や地域企業と構築した連携・協力体制を活用して、継続的な人材育成を図りながら、解体材料の提供や各種現場見学・実習場所等の確保に努める。
- 生徒のアンケート結果を見ると、学習の理解・定着については良好であるが、持続可能な循環型社会の構築への実践については認知度が低いと感じた。今後も、授業を通し啓蒙活動をしていく必要がある
- 今後も廃材を活用して製作したアクリルパネル・簡易間仕切り・木工家具を、地域防災に役立てるために各種団体（町内会など）や教育機関（中学校・小学校・幼稚園・保育園など）に寄付し活用していただけるよう関係機関と調整したい。また、要望を精査し製作可能なものを提供していく。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値 (指標：関連授業時数)

単位：時間

令和元年度	令和2年度	令和3年度
322	293	311

6 事業費の推移

単位：千円

令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,838	2,409	2,311